

広報

No.161

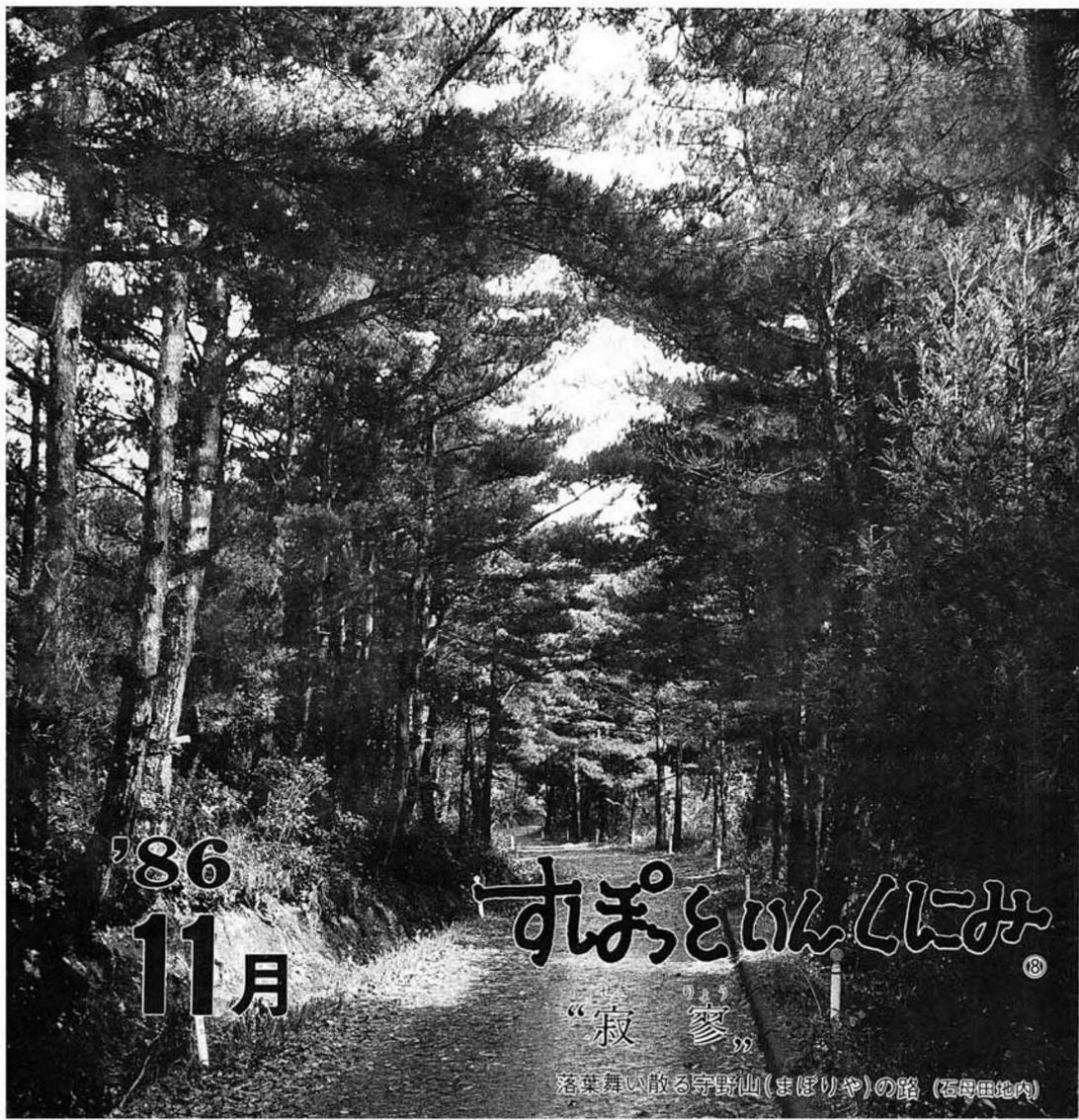


昭和61年11月15日

発行・編集 国見町企画課

※※※※※
おもな内容
※※※※※

町政功労者を表彰.....	2
今年も大量入選.....	3
～県統計グラフコンクール～	
昭和62年成人者.....	4
ふるさとの文化財.....	5
おしらせ.....	6～7
公民館だより.....	8～9
わだい.....	10



'86
11月

すまゝといんくにみ®

“寂寥”

落葉舞い散る守野山(まぼりや)の路 (石母田地内)

表彰功労者を表彰

式表彰町見国祝



松浦議員ら

二十人が受賞

昭和六十一年度の町表彰式が、
菊薫る十一月六日、町公民館で
行われました。

これは、町表彰規程により、
政治、経済、産業、文化、社会
など町政各般にわたって、町の
発展に尽くされた方々を顕彰す
るもので、今年で二十回を迎え
ました。

今年度は、功労表彰として、町
議会議員の松浦芳蔵さん、同じ
く玉手昭市さんら十五人が受賞、
善行表彰は、部落会長の佐藤元
一さんら五人が受賞しました。
町発展のため、それぞれの分
野で尽力されてきた受賞者一人
ひとりに八島助役から表彰状と
記念品が贈られました。

受賞者を代表して松浦さんが、
「栄えある賞をいただき、大変
光栄であると思っています。今
後も、いっそう町の発展のため
に努力します。」と謝辞を述べ
て表彰式を終えました。

受賞者の皆さんの功績を称え
るとともに、今後も引き続き国
見町発展のためご尽力くださる
ようお願いいたします。

受賞された方々は次のとおり
です。(敬称略)

功労表彰

- ▽松浦 芳蔵 (町議会議員)
- ▽玉手 昭市 (町議会議員)
- ▽東海林 正子 (選挙管理委員)
- ▽後藤 博 (選挙管理委員)
- ▽菊地 昭平 (消防団員)
- ▽佐藤 正己 (消防団員)
- ▽佐久間 成美 (消防団員)
- ▽高橋 力 (消防団員)
- ▽後藤 一 (消防団員)
- ▽福村 克己 (消防団員)
- ▽穂苅 及郎 (消防団員)
- ▽佐藤 一郎 (町職員)
- ▽佐藤 栄一 (町職員)
- ▽高橋 フミ (町職員)
- ▽田中 陽子 (町職員)

善行表彰

- ▽佐藤 元一 (部落会長)
- ▽佐藤 徳造 (部落会長)
- ▽渡辺 仙太郎 (納税貯蓄組合長)
- ▽佐藤 正康 (交通指導員)
- ▽朽木 好秋 (交通指導員)

今年も大量入選

県統計グラフコンクール

統計に関心をもってもらうと、福島県が毎年実施している統計グラフコンクールに、小坂小学校の児童二十人、十五点の作品と、大木戸小学校の児童八人、七点の作品を応募し、八十二人が入賞しました。

小学校低学年の部で、小坂小学校三年の鴨田清敏くんの「プールにきた人しらべ」が県教育長賞に、また、大木戸小学校三年の竹田美歩ちゃん、八島恵美美ちゃん合作の「へちまのかさつ」——くきの長さと本葉の数——が県統計協会会長賞を受賞しました。



▲賞状と記念品を受ける八島恵美子ちゃん



▲賞状と記念品を受ける竹田美歩ちゃん

なお、学校賞としても小坂小学校が、三年連続して優秀校に輝きました。

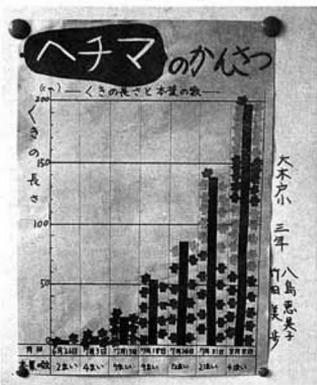
十月二十一日、相馬市民会館で開かれた第三十六回の県統計大会の席上、三人に賞状と記念

品が授与されました。特に、竹田美歩ちゃん、八島恵美子ちゃんには、県統計協会会長賞の受賞者の代表として、壇上で県統計協会副会長の大須賀長安長沼町長から直接手渡され、会場につ



▶鴨田清敏くんと教育長賞を受けた作品

◀恵美子ちゃん、美歩ちゃん合作の作品



大木戸小 三年 八島恵美子、竹田美歩

めかけた出席者から盛大な拍手が送られていました。

また、統計功労者として、赤坂善さん（内谷西、統計従事歴十一年）と佐々木二郎さん（石母田西、統計従事歴十年）が、長年の努力が認められ、県統計協会長表彰を受け、さらに、国見町統計調査員協議会も、優良団体として、県統計協会長表彰を受けました。

統計グラフコンクールの入賞者は次のとおりです。（敬称略）

◆小学校低学年の部
 ◆教育長賞
 鴨田 清敏（小坂小二年）

◆統計協会会長賞
 竹田 美歩（大木戸小三年）
 八島 恵美子（同 三年）

◆佳作
 佐藤 泰彦（小坂小一年）
 安藤 航（同 二年）

◆佳作
 （小学校高学年の部）
 若林 琢也（小坂小五年）
 古溝 真奈美（同 五年）
 斎藤 奈々江（同 六年）
 佐藤 みゆき（同 六年）
 後藤 恵美（同 六年）
 遠藤 幸子（同 六年）

◆努力賞
 鴨田 美幸（小坂小四年）

昭和六十二年成人者

来年一月十五日成人式



来年一月十五日の「成人の日」には町の成人式が行われます。対象者は、昭和四十一年四月二日から四十二年四月一日までに生まれた方で、町内在住者です。ただし、希望すれば町当出身の町外在住者でも参加できます。早めに教育委員会に申し込みください。☎八五二一―十一月六日現在の予定者は次のとおりです。氏名に誤りや記載漏れがあればお知らせください。

- 藤田地区 42名 (敬称略)
 - 菅野 博文 二瓶 由利子
 - 太田 陽子 遊佐 康平
 - 阿部 美和 齋藤 隆司
 - 斎藤 貴恵子 古川 美紀
 - 遠藤 美喜 松崎 美佐子
 - 阿部 順子 奥山 智彦
 - 吉田 美喜子 佐藤 修子
 - 本田 美佳子 阿部 真砂子
 - 佐藤 秀一 鈴木 葉子
 - 中野 正幸 佐久間 光吉
- 小坂地区 11名
 - 一條 志津子 佐藤 孝康
 - 菅野 祐花里 安藤 ひとみ
 - 山田 陽子 八巻 吉雄
 - 仲野 実 佐藤 順子
 - 古内 忠行 齋藤 省一
 - 桃井 喜浩
- 大木戸地区 10名
 - 佐藤 砂由利 松浦 敏江
 - 酒井 真由美 松浦 幸司
 - 阿部 和義 吉川 みき子
 - 佐藤 正 菊池 早苗
 - 菊池 孝子 村上 生子
 - 角田 栄治郎
- 大枝地区 8名
 - 佐藤 清子 齋藤 弘子
 - 瀬戸 正志 佐藤 幸子
 - 佐藤 美智子 鈴木 秀昭
 - 大浪 亮一 鈴木 みどり

- 佐藤 正臣 齋藤 忠一
- 菊地 アヤ子 吉田 憲雄
- 穴戸 研二 菊地 幸喜
- 松浦 正明 玉木 由美子
- 浅野 由美 齋藤 かゆり
- 佐々木 春美 吉田 郁子
- 横山 晋作 遠藤 和夫
- 森木 千恵子 齋藤 佳代子
- 石崎 正勝 五十嵐 育子
- 豊野 弘明 矢部 美智子
- 鈴木 一弘 佐久間 明浩

- 小池 明美 小野 一浩
- 佐藤 静子 佐藤 美奈子
- 斎藤 盛一 齋藤 敏江
- 佐野 綾子 佐藤 由美
- 八巻 敦子 穴戸 利夫
- 村上 加代子 横山 孝子
- 菊地 奈緒美 黒田 慈
- 仲野 栄輝 佐久間 明美
- 菊地 幸治 菊地 健一
- 角田 栄治郎

合計96名(男42名 女54名)

身近にある野草・薬草

29

センブリ



生薬名の当薬は、昔、この薬をなめた人が、その苦さに「当に薬である」と言ったことから名づけられたといわれます。ちなみに、この苦みが舌を刺激して胃の働きを活発にしてくれます。

▼薬用▲

秋、よく開花している全草を採取し、日干しにします。

健胃・胃や腸の痛みに

一回量として当薬の粉末〇〇三〜五グラムを、食欲のないときは食前十分ぐらいに、その他のときは食後すぐに、オプラートなどに包まず、そのまま服用します。

煎じて用いるときは、一日量として当薬〇・三〜二五グラムを水四百ccで煎じ、三回に分けて服用します。

円形脱毛症・若年性脱毛症に

粉末か、こまかく刻んだ当薬十五グラムをホワイトリカー二百ccに漬け、密栓して冷蔵庫に一〜三か月くらっておき、この液を一日一回手のひらに少量とり、はげた部分にすり込むようにしてマッサージします。これを毎日、気長につづけるといいです。

早く毛を生やそうとして、作った液全部をタオルに浸して頭になせ、おかしくなってしまう話もあるので、要注意。

(山野草カラー百科から)

全国各地の雑木林のいたるところに野生する二年草。日本の民間薬の代表格ともいふべき薬草で、実物を知らない人でも、「センブリ」「当薬」と聞けば、「苦い」という答がすぐ出てくるほどのもの。

名前の由来は、千度もお湯で振り出しても、まだ苦みが残るといふ意味から由来します。

ふるさとの文化財

32

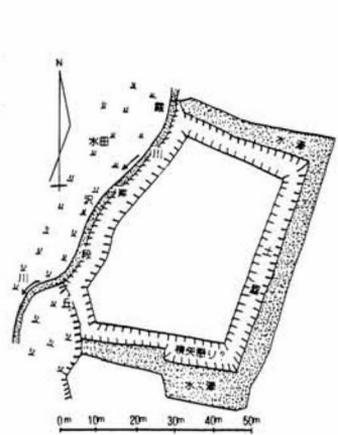
王壇古墳と霞館

菊池利雄



王壇古墳と霞館は、西大枝の霞沢川上流部に位置する。

王壇古墳は未調査ではあるが、七世紀ごろ古墳時代の末期に構築をみた円墳で、高さ一丈(三m) 直径六間(十八m)、周囲二十間(三十六m)の規模をもち、頂部には、俗に王壇の松と呼ば



西大枝村地籍図による霞館復原図 (国見町役場所蔵)

れた根まわりが一丈二尺(三六m)ほどの老松が四方に枝を広げて遠くからも望見されたが、戦後の食料難時代、墳丘に甘藷の貯蔵穴が掘られた際、根が切られて枯死してしまった。この時石室に使用されていた切石が出土し、墳丘上に放置されている。

西大枝村絵図(極区有寄)によれば、王壇古墳の東部諸川内川沿いの川岸段丘上に立地する現窪地内「輪地」に、古墳状のものが描かれており、かつてこの台地上には王壇古墳を主墳とした古墳群の存在が想定される。

王壇古墳の被葬者は、この古墳では明らかでないが、この古墳の西側を流れている牛沢川の分派川跡とみられる、霞沢・諸川内川や、阿武隈川沿の湿地に開発された水田を基盤とした経済力を背

景に、この地域を支配下に置いた古墳時代の小豪族であろう。

霞館は王壇古墳の南東百七十m、霞沢川右岸の川岸段丘上にあって、明治の西大枝村地籍図によれば、南北約八十m、東西約五十五mの長方形形状をなし、水濠と土塁の幅は約五m、深さと高さは明らかでない。西側は段丘崖と湿地を要害とした単濠・単郭式の平地城である。

霞館の館主は不明であるが、「信達二郡村誌」によれば「相伝フ王子此城二生レ玉(絶)ヒ、没シテ王壇二葬ル」とあるが、霞館は築城の様式からみて、鎌倉から室町時代末期のものともみられ、古墳時代末に構築をみた王壇古墳とは、時代差がありすぎて、伝説の城をでていない。参考文獻 国見町史一・四巻

感謝状を受賞



幕田政雄さん



遊佐保平さん



斎藤喜代太さん



佐藤六助さん

十一月十一日、福島市の杉妻会館牡丹の間において、納税貯蓄組合法施行三十五周年を記念し、福島税務署長並びに福島地区納税貯蓄組合連合会長から、多年にわたり納税貯蓄組合の育成指導と納税思想の高揚に尽された功労に対し次の方々を受賞されました。

◆福島税務署長表彰

○ 遊佐 保平さん

○ 内谷東納税貯蓄組合長

○ 幕田 政雄さん

◆福島地区納税貯蓄組合表彰

○ 石母田原納税貯蓄組合長

○ 佐藤 六助さん

○ 第五納税貯蓄組合長

○ 斎藤喜代太さん

その受賞の榮譽をたたえ、長年のご労苦に対し深く感謝いた



戦傷病者などの妻の皆さんへ

戦傷病者などの妻に対する特別給付金支給法が改正され、戦傷病者の妻に改めて特別給付金が支給されます。

支給対象者及びその額は、次のとおりです。

- 1、昭和六十一年十月一日に第五款以上の増加恩給などを受けている戦傷病者の妻のうち次に該当する方
 - ①第六回特別給付金国債(額面三十万円または十五万円)の「い号」(「り号」を受けた妻
 - い号受給者 額面六十万円
 - ろ号受給者 額面五十七万円
 - は号受給者 額面五十一万円
 - ほ号受給者 額面四十八万円
 - へ号受給者 額面四十五万円
 - と号受給者 額面四十二万円
 - ち号受給者 額面三十九万円
 - ろ号受給者 額面三十六万円

り号受給者 額面三十三万円
十年償還の国債
(軽症者はそれぞれ半額)

②第十一回特別給付金国債(額面二万円または一万円)の「い号」を受けた妻
額面三十万円、十年償還の国債(軽症者は半額)

③第八回特別給付金国債(額面五万円または二万五千元)の「ろ号」または「は号」を受けた妻
額面三十万円、十年償還の国債(軽症者は半額)

④第十二回特別給付金国債(額面十万円または五万円)の「ぬ号」を受けた妻
額面三十万円、十年償還の国債(軽症者は半額)

2、昭和五十八年四月一日に第五款以上の増加恩給などを受けていた戦傷病者の妻で、昭和五十四年四月二日(満州事変間の受傷り病者は昭和四十八年四月二日)以後に後重症となった方の妻、または婚姻した妻
額面三十万円、十年償還の国債(軽症者は半額)

3、昭和六十一年五月十五日に国債の償還中の妻で昭和五十八年三月三十一日までに戦傷病者が平病死した方の妻(当該国債の償還終了後に支給さ

れます)で、受付開始の時期などについては役場住民課にお問い合わせください。
額面五万円、五年償還の国債

昭和六十一年十月一日から請求受付を開始しておりますので、役場住民課にお問合わせの上、手続きをおとってください。

なお、戦傷病者が昭和五十八年四月一日前に公務傷病などにより死亡した場合は、戦没者などの妻に対する特別給付金が支給されます。

食べてますか このマーク



県では、豆腐・納豆などの地域食品について、地域食品認証制度を設け、製造施設や品質、表示などの基準を定め、きびしい検査に合格したものに、この認証マークを付けることを許可しています。

現在、豆腐・油揚げ・納豆・こんにやく・かまぼこ類を認証対象品目として本制度を実施していますので、ぜひ認証マークの付いた地域食品をご利用ください。

なお、本制度についてのお問い合わせは、最寄りの各行政事務所県民生活課または県庁県民生活課消費行政班までおたずねください。

「フルムーン 夫婦グリーンパス」の発売について

藤田駅

国鉄では、今年も熟年夫婦を対象に、「フルムーン夫婦グリーンパス」を発売します。

- 一、利用できる人
- 二、二人の年齢合わせて八十八歳以上のご夫婦。
- 三、券種とねだん
- 四、五日間用 二人で六万五千元
- 五、七日間用 〃 八万円
- 六、十二日間用 〃 十万円

ご夫婦のどちらかが七十歳以上の場合五千円割引となります。

- 三、利用できる列車
- 四、発売期間
- 五、有効期間

昭和三十二年五月三十一日
昭和三十二年九月二十五日
昭和三十二年十月一日
昭和三十二年六月三十日

年末調整の月です



十二月は「年末調整の月」です。大部分のサラリーマンは、年末調整によってその年の納税が完了することになり、改めて確定申告をする必要はありません。

しかし、給与の収入金額が、千五百万円を超える場合や、給与所得以外の所得の金額が、二十万円を超える場合は、確定申告が必要です。

また、サラリーマンの方で、雑損控除や、医療費控除など、今年初めて住宅取得控除の適用を受けようとする方は、確定申告により源泉徴収された所得税が、その範囲内で還付されますので、忘れずに確定申告をしてください。

詳しくは、最寄りの税務署や税務相談室におたずねください。

入札参加資格審査

説明会のお知らせ
一、日時 十二月一日

午後一時半から四時まで
二、場所 福島県建設センター

※詳しくは役場建設課へ



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

十七チームが健脚競う

町内一周駅伝競走大会

十一月九日、町教育委員会主催、町体育協会・公民館主管の第十一回国見町内一周駅伝競走大会が、町役場前スタートで行われ、十七チームが健脚を競いました。



▲いっせいに役場前をスタート

選手たちは、収穫の終わった町内一周のコースを、沿道につめかけた人たちの声援を受けながら力走しました。成績は次のとおりです。

- 優勝 小坂Aチーム 1時間22分52秒
- 準優勝 石母田Aチーム 1時間23分58秒

◎第三位 源山チーム

1時間24分32秒

区間賞

- 一区 蓬田晋司(徳江南部)
 - 二区 高原燕子(小坂A)
 - 三区 小野慎寛(高城)
 - 四区 佐藤弘明(高城)
 - 五区 高野輝夫(小坂A)
 - 六区 佐藤良(小坂A)
 - 七区 高橋豊光(源山)
 - 八区 佐藤修二(森山)
 - 九区 佐藤武徳(石母田A)
 - 十区 遠藤邦雄(大枝B)
- 特別賞(十回連続出場)
高村義孝(源山)
長谷川宗夫(高城)
井砂由男(大枝)
松浦 稔(大枝)
宍戸宗兵衛(森山)
斎藤洋二(滝川)



▲力走する選手

青年学級で模擬結婚式



▲合同で行われた模擬結婚式

十一月八日、青年学級では、桑折町青年学級との合同で、模擬結婚式を公民館において行いました。昨年に続いての行事でしたが、今回は、桑折町青年学級との交歓会も兼ねて行われました。会場を教会風に飾りつけし、挙式、親族紹介、披露宴を行い、正装した学級生は、本番さながらに新郎、新婦、仲人、牧師などに扮して演出を行い、有意義な体験学習を終えました。

野外で親と子のふれあい



▲親と子で楽しんだ野外活動

乳幼児学級では、十月十五日、学級生八名と幼児十二名が参加し、福島市の児童公園で野外研修が行われました。午前十時に公民館を出発し、児童公園に着くと、幼児たちはととろ狭しと大いにはしゃぎ、楽しい時間を過ごしました。昼食後、あづま運動公園をまわり、野外研修を終えましたが、秋晴れの天候に恵まれ、すばらしい親と子のふれあいができました。

高齢者 婦人 運動会

十月十八日(土) 高齢者と婦人運動会が行われました。カード合わせや地区対抗によるゲートボールなどユニークな競争に、約二百五十人が参加しスポーツの秋を楽しみました。



▲前まわり?もなかなかむずかしい

ゆく秋を借しむ

『阿津賀志学級研修旅行』

阿津賀志学級では、十月二十四日、二十五日の両日、秋の研修旅行を実施しました。参加者は七十八名で、二日間ともに好天に恵まれ、開館間もない会津若松市の県立博物館を時間をかけて見学し、その夜は

芦ノ牧温泉で疲れをいやしました。

翌日は、塔のへつり、大川ダム、本郷焼の工場を見学し、秋の会津路の紅葉を採勝しながら、全員元気で楽しい研修旅行を終えました。



▲旅の疲れをいやす、楽しいひととき

新刊図書

三百冊を購入

公民館では、このほど、新刊図書三百冊を購入いたしました。一人でも多くの人たちに読んでいただきたいと思っておりますので、大いにご利用ください。

図書寄贈

創福学会全国支部から
山岡荘八、柳生三天(御外二十四冊)の図書が寄贈されました。ありがとうございます。

貝田チームが初優勝 第四回 町長杯争奪ソフトボール大会

国見町、町体協主催の第四回町長杯争奪ソフトボール大会が、県北中グラウンドで、十月十三日から十月二十九日まで、ナイターで行われました。

県北中学校の改築工事のため、二年ぶりの開催となった大会には、地区、職場で編成した二十九チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

試合の結果は下記のとおり。

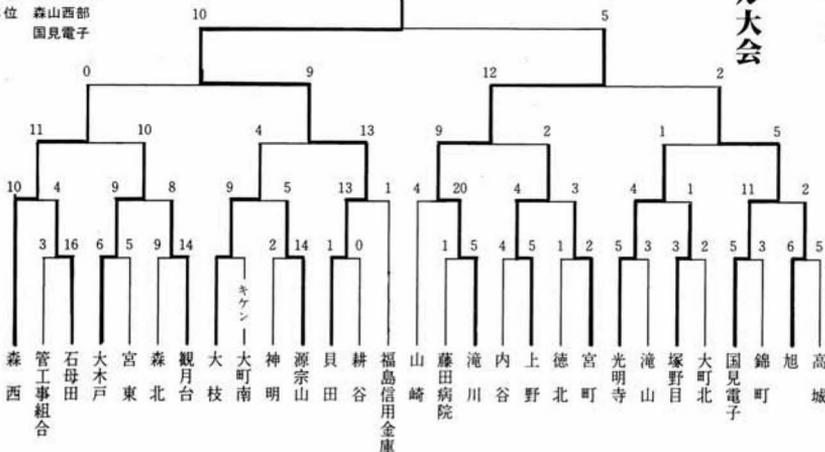


▲熱戦を繰り広げたソフトボール大会

組 合 せ

貝 田

- 優勝 貝田スポーツクラブ
- 準優勝 滝川クラブ
- 第3位 森山西部
- 国見電子



わだ い



収穫に歓声

大木戸小学で イモ堀り

大木戸小学では、十月二十二日と二十三日の二日間にわたり、学年ごとにサツマイモ掘りを行いました。

勤労体験的学習の一環として今年で八回目を数えるこの行事は、児童たちに勤労の大切さと喜びを味わってもらおうと始められたものです。

今年の五月下旬に、一人二株ずつ名札をつけて苗を植え、この日の収穫となりました。

二十三日には、一年生二十四人と、大木戸季節保育所の園児四十九人が、校庭の前にある畑に出かけ、準備してきたシャベルや手で、大きく育ったサツマイモを、手を泥だらけにしながら掘っていました。中には、一つで一キログラムもある大きなサツマイモもとれ、児童、園児たちは歓声をあげながらイモ掘りに熱中していました。

二日間にわたる収穫は、約三百五十キログラムほどで、それぞれ自分の家に持ち帰り、食糧にぎわしたかと思えます。



▲大きなサツマイモを手にする園児たち

県北中学校の落成祝う

落成祝う

完成となった県北中学校の、校舎改築落成式が十月三十日午前九時から、同中体育館で行われました。

式には、町、学校、工事関係者、近隣町長など約百五十人が出席しました。

八島忠雄助役が「伝統に輝く県北中が、末長く人づくりのたけ発展することを期待します」と式辞を述べ、工事経過報告が行われたあと、工事関係者、土

地協力者らに感謝状が贈られました。

来賓の亀岡義彦県議、伊達地方町村会長の半沢栄一郎月詔町長らが祝辞を述べ、幕田貞一校長と、五百四十三人の生徒を代表して、生徒会長で三年の村上和臣君が謝辞を述べました。式終了後、ジュースで乾杯し、県北中の新しい出発を祝福しました。



▲県北中体育館で行われた校舎改築落成式

県飯山市の富倉小学校から飛ばしたもので、手紙には「見つけた方はお返すください」と書かれてありました。

この富倉小学校は、長野県の北部に位置し、全校生徒が二十八人で、来年四月には学校が合併されてなくなるため、九月二十一日の最後の運動会に、閉校行事の一環として風船を飛ばしたものです。

佐藤さんは、二百三十キロも離れた国見町まで飛んできたことに驚き、翌日、町の資料などをそえて返事を送りました。

この資料は、富倉小学校の児童はもちろん、地区の文化祭にも展示され、大変好評を博し、このほど、佐藤さんの善意に感謝した全校生徒からの手紙が届

佐藤俊雄さんに お礼の手紙

お礼の手紙

泉田字川南の佐藤俊雄さんの果樹園に、九月二十四日、手紙のついでに、一個の風船が飛んできました。

この風船は、遠く離れた長野



▲お礼の手紙を手にはほへむ佐藤さん

町職員の仕事異動

十一月一日付

▽保健課保健衛生係(総務課付) 佐藤孝▽税務課課課係(保健課保健衛生係) 菊地弘美

編集日記

○時雨が降り、各地から初雪の便りが聞かれ、近づく冬の訪れを感じる季節となりました。

○先日、表紙の写真撮影のため、守野山(まぼりや)に出かけましたが、道路のわきに捨てられたゴミの多さには驚きました。

○タイヤや空カン、漬物の腐ったものまでが捨てられ、せつかくの景観が損なわれていました。

○私たちの大事な財産である自然、私たちが自身の手で守らなければならないのですが……。

○これから、寒さがますます厳しくなっています。季節の変わり目、カゼなどひかないよう健康には十分注意したいものです。